

# 風の家レター

Letter on the winds. 

特定非営利活動法人 風の家

発行日：2013年1月26日



## 理事長より

新年あけましておめでとうございます。今年、風の家は、施設設立後3年目のお正月を迎え、ここに風レター第3号をお届けできますことを大変うれしく存じております。これもひとえに私ども風の家の日頃からお寄せくださった皆様方のご指導・ご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。昨年1年間を振り返ってみますと、4階建てのビルを借り受け、風の家として独立した

建物を持つことが出来たことが一番大きな出来事ではなかったかと思えます。これにより、これまで別々に持っていたシェルターと居場所を同じ建物の中に作ることが出来、事業が効率良くスムーズにできるようになりましたし、またそれまでの施設を利用して女性の支援をも出来るようになりました。

本年度は、この建物を利用して、業務の充実を図る年にしたいと、職員一同意欲を燃やしております。私ども風の家活動・運営について、これまで以上に暖かいご支援をお願い申し上げます。

## 活動の報告

昨年1年間の行事を振り返ることで、風の家活動の様子をお伝えしたいと思います。

1月2日 お節料理による昼食会

1月15日 鏡開き ぜんざい 神楽の手伝い

3月23日 牡丹餅を食べる会

4月20～25日 新しい施設への引っ越し

5月5日 巻きずし

10月10日 前田ケイ先生によるSST（社会技能訓練）

「疲れている妻に家事の手伝いをしたいが、なかなか言い出せない」という問題をみんなで練習しました。

12月23日 クリスマス会

広島キリスト教会から牧師および聖歌隊の方においでいただきました。出席者の一人が落ち着かず部屋を出入りしていましたが、牧師さんには「出ていってもすぐ帰ってきて、しっかり居場所になっていますね」と言っていました。

12月30日 餅つき 大掃除

リーベ女性の会からお手伝いに来ていただきました。大きな掛け声を掛け合いながら力いっぱい突きました。お世話になる隣近所に少しずつ配りました。杵の音が懐かしいと言っていました。また、都合で来られなかった人たちにも配って回りました。



## 最近のトピックス

- ① 広島ミカエラの家は、昨年3月31日でその業務を閉じられましたが、その際これまで使われていた家具のほとんどをご寄付いただきました。おかげさまで、家具家電等ほとんど補充することなく移転できました。ここに紙面を借りて厚く御礼申し上げます。
- ② 旧施設のころから、居場所では、集まって内職をするようになりました。最初は作業の依頼が少なく待機する日も多かったのですが、最近では土曜日を除くほぼ毎日活動しています。作業は、お盆のころには灯笼、年末にはお飾りも作りました。最初は作業の仕方も雑で、数が違っていたりしてやり直しもありましたが、最近では慣れて正確になり、速度も速くなり、集中力も増してきています。いわゆる作業場特有の緊張した雰囲気が漂っています。シェルターを經由した人だけではなく、利用者が友達を誘ってきたり、最近では地域の保護司の紹介で来る人もいます。内職の収入はその日によって違いますが、だいたい1人5,000円程度、生活保護を受けている者は、金額を広島市生活課に収入申告しますが、それぞれ使い道を計画しているようで、月末を楽しみにしています。
- ③ 風の家ではたくさんのボランティアの人に助けられています。その中で1人を紹介させていただきたいと思います。Aさん、月2回夕食を作ってくださいています。たいていは冷蔵庫にある食材を使って作られます。野菜中心ですが、いろいろ工夫をしてボリュームあるものを作られます。先日はじゃがいもの皮を使ってかき揚げを作られ、珍しい手の込んだ料理を利用者は楽しみにしています。
- ④ 昨年1年間のシェルター（緊急宿所）の利用者は31名、施設退所社のうち63%の人が民間アパートもしくは知人宅などで社会生活を維持しています。また、居場所利用者および家庭訪問対象者は延べ1,000名を超え、お金の自己管理に利用したり、話をしに立ち寄りたりしてくれています。

### ご寄付ありがとうございます（順不同）

広島ミカエラの家 様  
Food Bank 様  
広島キリスト教会 播磨聡 牧師  
(有)ピーアンドピー 斎藤みどり 社長  
中村産業 青山由美 社長  
米田和子 様

### 見学に来られた方々（順不同）

少年友の会 様  
広島家庭裁判所 様  
広島地方検察庁 様  
広島保護観察所 様  
貴船原少女苑 様  
**助成金**  
丸紅基金 様

## 編集後記

何とか無事新年を迎えましたが、フォーラム開催や赤い羽根共同募金活動など忙しい日々が続くことは変わりません。そんな中、危うくながらも社会生活を送ってきたS君は自立生活を自ら望み遠くの地へ引越し新たな生活を始めました。T君は家庭裁判所の試験観察を終えて春には両親の下へ帰るためその準備をしています。それぞれが「風の家」で感じたことを糧にして、それぞれの自立に向けて頑張っていて欲しいと願っています。（K）



特定非営利活動法人 風の家

〒730-0843 広島市中区舟入本町 17-8

HP : <http://www3.ocn.ne.jp/~kaze/>

☎ 082-232-6696 FAX 082-296-3234

Mail : [buratto-hiroshima@wine.ocn.ne.jp](mailto:buratto-hiroshima@wine.ocn.ne.jp)

